

新日本窒素労働組合旧蔵資料 データベース

この春リニューアル

<http://www3.kumagaku.ac.jp/minamata>

水俣学研究センター HP から
データベースのバナーを
クリック!

映像で見る新日窒労組の歴史

写真と動画で構成する「映像で見る新日窒労組の歴史」を新設しました。組合の歴史を6つの時代にわけ、各時代ごとに並べられた小アイコンをクリックすると、関連する写真や動画が見られるようになっています。写真には解説がつけられていて、当時の雰囲気を感じながら、組合の歴史を知ることができます。

1. 日本窒素労働組結成と身分制度撤廃闘争
2. 警職法・安保反対闘争
3. 安定賃金闘争と実カスト
4. 地域ぐるみの闘い
5. 長期抵抗闘争と水俣病患者との出会い
6. 水俣のくらしと組合の日常



新日本窒素労働組合とは

「新日本窒素」は、水俣病の原因企業であるJNC株式会社が1964年まで用いていた社名で、この会社の労働者たちが結成していたのが新日本窒素労働組合でした。会社が改名しても労組名を変更しないところに、組合の独自性がうかがえますが、忘れてはならないのは公害原因企業の労働者でありながら、公害の被害者すなわち水俣病患者の支援をおこなったことです。

新日本窒素労働組合旧蔵資料データベース

熊本学園大学水俣学研究センターは、「負の遺産」としての水俣病事件の全体像解明することをベースに、新たな学術分野と方法論を開拓する「水俣学」プロジェクトの推進拠点として設立されました。2004年に同労組より所蔵資料を寄贈されたのをうけて、4年の歳月をかけて整理の作業をおこない、2009年11月より「新日本窒素労働組合旧蔵資料データベース」として水俣学研究センターのホームページ上に文献資料を中心に公開してきました。

データベース作成作業はその後もつづけられ、2010年5月、2011年3月にもデータが追加されて、現在アップされているデータは24,566点にのぼります。

写真目録と物品目録の公開

本年は文献目録のデータ13,545点の追加に加えて、写真目録と物品目録も公開することになりました。

写真目録は、労組の写真班が撮影したもので、1962年(昭和37)の安賃闘争が中心になっているものを目録化したもので、7,436データにのぼります。

物品目録は、組合活動で使われた組合旗やゼッケン・ハチマキ、またガリ版ヤスリや鉄筆などの物品を目録化したもので、537データあります。

